

第4節 騒音・振動

1. 工場・事業場・建設作業等

(1) 概況

工場・事業場に設置される著しい騒音・振動を発生させる施設を特定施設といい、騒音規制法や振動規制法及び福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例により定められています。この特定施設を有する工場・事業場を特定工場といい、届出が義務付けられ、法及び条例の規制を受けます。

建設作業で、特に著しい騒音・振動を発生するくい打ち機やさく岩機等の作業については特定建設作業として届出が義務付けられ、法による規制を受けます。届出者に対しては、周辺的生活環境に配慮した作業の実施や周辺住民への事前周知の徹底等の指導を行っています。

(2) 現状と対策

(ア) 騒音・振動苦情の状況

令和4年度の騒音苦情件数は、総苦情件数220件中34件と全体の約15%を占めています。発生源別にみると、工場・事業場、建設作業で騒音苦情の約63%となっています。その他は家庭から発生したものや、店舗から発生したものでした。苦情件数は増加傾向にあり、新型コロナウイルスによる外出自粛により、屋内にいる時間が増えたことによる相談も増加しています。

振動苦情件数は1件で、建設作業によるものでした。

図2-4-1 騒音苦情の発生源別内訳

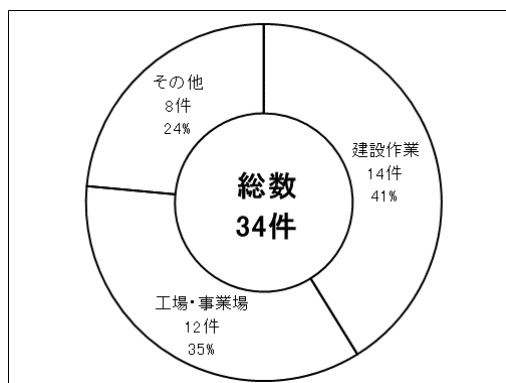
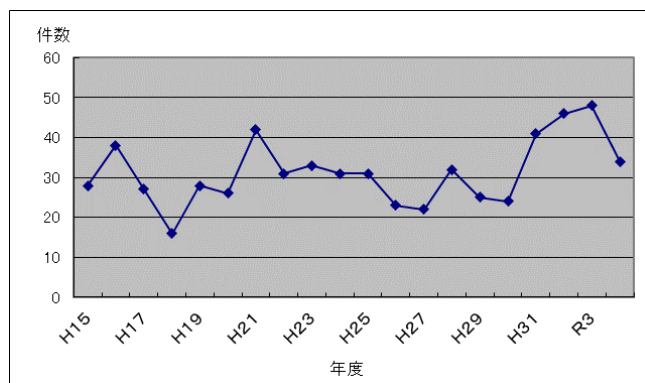


図2-4-2 騒音苦情数の経年変化（過去20年間）



(イ) 工場・事業場

① 特定施設の届出状況（令和4年度）

騒音の届出特定施設数は2,977件で、内訳は、空気圧縮機等、織機、金属加工機械、印刷機械の順に多く、この4施設で全体の約9割を占めています。振動の届出特定施設数は1,725件で、内訳は、織機、金属加工機械、圧縮機、合成樹脂用射出成形機の順に多く、この4施設で全体の約8割を占めています。

図 2-4-3 騒音規制法の特定施設

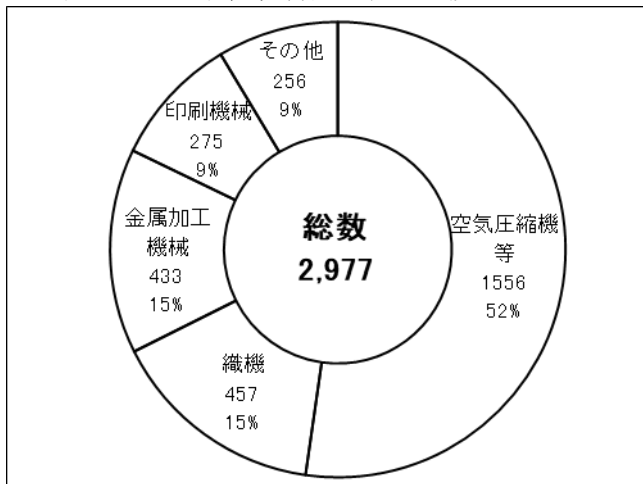
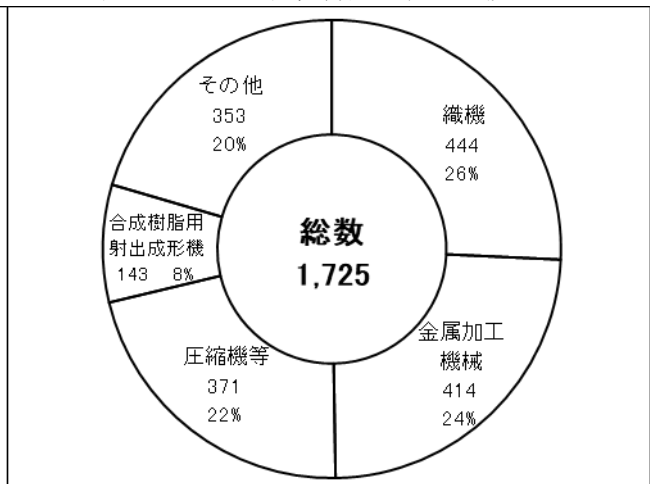


図 2-4-4 振動規制法の特定施設



② 特定工場への立ち入り調査結果

令和4年度は、苦情相談があった金属加工事業場、土質改良・改良土製造販売の事業場及び廃棄物リサイクルの2事業場について騒音の立ち入り調査を実施しました。

金属加工事業場、土質改良・改良土製造販売の事業場については、測定の結果は基準値内でした。

廃棄物リサイクルの1事業場の測定の結果は基準値内でした。もう1事業場は測定の結果が基準値超過であることを確認したため、改善を講じるよう行政指導を実施しました。その後、事業場から改善計画書の提出があり、今後改善が実施される見込みです。

(ウ) 特定建設作業

令和4年度の特定建設作業の届出状況は、さく岩機、杭打ち機等を使用する作業がほとんどでした。特定建設作業関係での苦情相談は、騒音が1件でした。

表 2-4-1 特定建設作業届出件数（騒音規制法）

使用機器種類	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
くい打ち、抜き機等	7	6	12	14
さく岩機	38	31	43	57
空気圧縮機	1	2	2	3
バックホウ	3	0	0	1
ブルドーザ	0	0	0	0
計	49	39	57	75

表 2-4-2 特定建設作業届出件数（振動規制法）

使用機器種類	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
くい打ち、抜き機等	7	5	12	13
鋼球	0	0	0	0
舗装版破砕機	0	1	0	0
ブレーカー	19	12	25	30
計	26	18	37	43

2. 自動車騒音・道路交通振動

(1) 概況

主要幹線道路の自動車通行に伴う環境の実態把握を行うため、交通量の多い路線を中心に調査対象路線を選定し、計画的に毎年3路線について騒音・振動調査を実施しています。

令和4年度は、一般国道322号、久留米城島大川線、市道小森野中央A52号線の3路線において測定を行いました。

(2) 現状と対策

① 自動車騒音

自動車騒音調査を実施した3路線全てについて、昼間の時間帯において環境基準に適合しました。夜間の時間帯では2路線で環境基準に適合しました。

自動車騒音は、評価対象となる幹線道路（一般国道、高速道路、県道、4車線以上の市道等）の沿道にある住居の戸数に対して、環境基準に適合した戸数の割合を求めて評価します。これを面的評価と言います。対象地域は評価対象となる幹線道路から50mの範囲内で、住居等が受ける騒音レベルを実測し、この値を基に予測式を用いて区域内の各戸における騒音レベルを算出します。

自動車騒音の対策については、バイパス整備等の交通量の分散や交差点改良、道路構造の改善等が挙げられますが、これらの改善には多くの費用と時間を要します。なお、測定結果については庁内関係部局及び道路管理者である関係行政機関に報告しています。

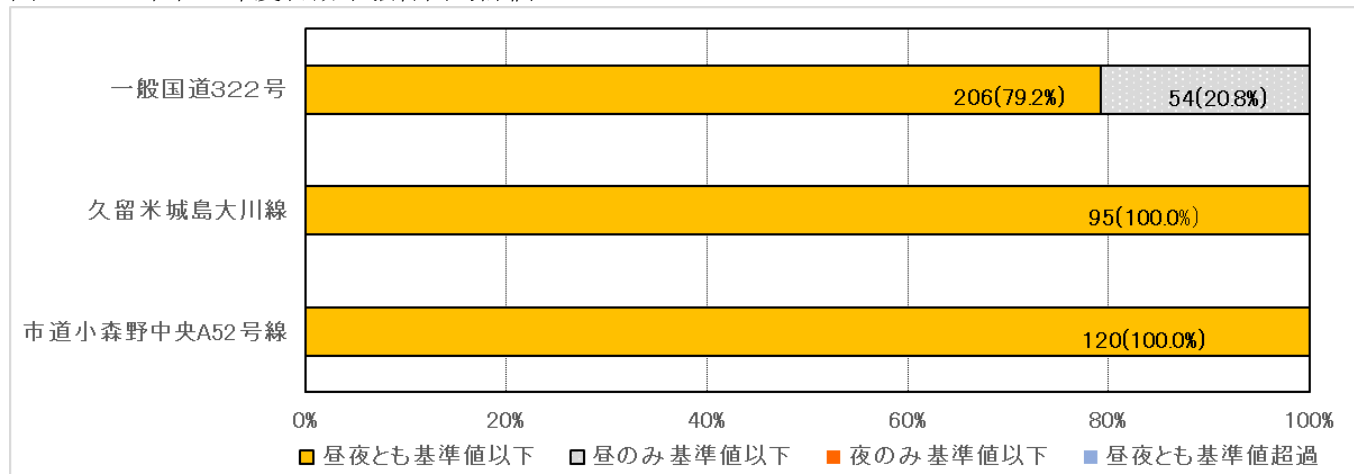
表 2-4-3 令和4年度自動車騒音測定結果

[単位：Leq dB(A)]

測定地点	昼（6～22時）		夜（22～6時）	
	測定値	環境基準	測定値	環境基準
一般国道322号 (久留米市合川町31-1)	69	70	68	65
久留米城島大川線 (久留米市大善寺町中津218-1)	70		63	
市道小森野中央A52号線 (久留米市篠山町21)	63		55	

※ Leq（等価騒音レベル）…変動する騒音のレベルのエネルギー的な平均値

図 2-4-5 令和4年度自動車騒音面的評価



② 道路交通振動

自動車振動調査を実施した3地点全てにおいて、昼間・夜間の時間帯いずれも要請限度を超過した地点はありませんでした。

※振動は環境基準の設定はなされていない。

表 2-4-4 令和4年度道路交通振動測定結果

[単位：L10 dB]

測定地点	昼（8～19時）		夜（19～8時）	
	測定値	要請限度	測定値	要請限度
一般国道322号 (久留米市合川町31-1)	40	65	37	60
久留米城島大川線 (久留米市大善寺町中津218-1)	39		27	
市道小森野中央A52号線 (久留米市篠山町21)	40		31	